令和2年度(2020年度)

管理事業名	文化振興事業			総合計画の 体系 施策 1 大綱 7 都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 放策 2 文化の振興					しめるまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	22	文化振興費
部局名	都市魅力部	予算執行所属				文化スポ	ポーツ推	進室	

予算大事業名 文化振興事業 上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名

事業の目的と概要 【目的】 市民の文化活動の振興を図るため、幅広く文化事業を実施します。

- 【概要】

 ・市民劇場等運営委託事業 (音楽、演劇その他の幅広いジャンルから、優れた作品を安価に提供)
 ・ティーンズクラシックフェスティバル事業 (才能ある将来性豊かな演奏家を発掘及び育成)
 ・市民文化祭事業(市民に芸術文化活動と芸術鑑賞の機会を提供)
 ・市展運営委託事業 (創作意欲・技術の向上と身近な場での芸術鑑賞の機会を提供する公募美術展覧会を実施)
 ・南山田市民ギャラリー事業(市民の芸術活動を発表する場を提供)

Ⅰ 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成 果 指 標 の 定 義
市民劇場等入場者数	人	1,310	1,742	3,215	入場者数
ティーンズクラシックフェスティバル入場者数	人	1,266	1,682	897	出演者を含む入場者数
市展出品点数	点	296	290	180	出品点数、令和2年度は賞の選定はなく展示のみ
市民文化祭参加者数	人	28,400	22,360	12,845	出演者を含まない市民文化祭参加者数
市民ギャラリー展示団体数	団体	59	51	24	展示団体数
南山田市民ギャラリー来館者数	人	5,064	4,584	690	来館者数

成 文化会館の改修による休館や、新型コロナウイルス感染症の影響による公共施設の休館、事業規模縮小など制約のある中での事業実施となり、例 年に比べると実績値は減少しています。平成30年度及び令和元年度の市民劇場は、文化会館改修による影響で他の市内公共施設で実施しました。 が、令和2年度は、改修工事を終えた文化会館に会場を戻し、実施回数は少ないものの大ホール・中ホールにおいて公演を実施しました。 の 説

Ⅱ 財務情報

明

φ	- M 757 同報 行政コスト計算書				(単位:千円)
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	差額
			Α	В	B-A
	地方税	_	_	_	_
	分担金及び負担金	_	-	-	_
	使用料及び手数料	172	144	24	△120
経	国庫支出金(経常費用充当)	-	-	573	573
常	府支出金(経常費用充当)	-	-	-	_
収	財産収入	_	_	_	_
入	奇附金	_	_	_	_
^	他会計からの繰入金	-	-	_	_
	受取利息及び配当金	_	_	_	_
	その他	6,622	3,421	13,642	10,220
	経常収入 小計(a)	6,794	3,565	14,239	10,674
	給与関係費	44,175	43,747	27,458	△16,290
	物件費	28,248	24,258	49,050	24,791
	維持補修費	1	ı	923	923
١.	社会保障扶助費	1	ı	-	_
経	負担金·補助金·交付金等	314	330	260	△70
常	特別会計への繰出金	_	-	-	-
費	減価償却費	228	228	228	-
用	徴収不能引当金繰入額	_	_	_	_
	賞与引当金繰入額	2,743	3,426	1,972	△1,454
	退職手当引当金繰入額	14,042	2,762	△9,911	△12,673
	支払利息	_	_	-	_
	その他	_	_	-	_
	経常費用 小計(b)	89,750	74,752	69,980	△4,772
経	常収支差額 (a)-(b)=(c)	△82,956	△71,187	△55,741	15,446
特	固定資産売却益	-	-	-	-
別収	その他	-	-	-	-
入	特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特	固定資産除売却損	_	-	-	-
別費	その他	_	-	-	-
用	特別支出 小計(e)	_	-	-	-
特	別収支差額 (d)-(e)=(f)	_	_	-	-
	般財源調整額 (g)	-	-	-	_
	期収支差額 (c)+(f)+(g)	△82,956	△71,187	△55,741	15,446
	般財源充当額	71,342	70,504	68,868	△1,636
	般会計からの繰入金	_	_	_	_
	般会計への繰出金	-	-	-	-
再		△11,614	△683	13,127	13,810

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入その他	市民劇場等入場料収入 12,203千円、文化会館リニューアル記念事業入場料 1,183千円ほか
物件費	市民劇場等運営委託料 33,370千円、文化会館リ ニューアル記念事業 4,337千円、文化会館リ ニューアルオーブン記念文化祭 1,380千円ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B−A
行政サービス活動収入 行政サービス活動支出		3,565 74,069	14,239 83,107	10,674 9,038
行政サービス活動収支差額	△71,342	△70,504	△68,868	1,636
投資活動収入 投資活動支出	-	-		1 1
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入 財務活動支出	_	_	_	_
財務活動収支差額	-	_	-	_
収支差額 合計	△71,342	△70,504	△68,868	1,636
一般財源充当額	71,342	70,504	68,868	△1,636
一般会計からの繰入金	-	_	-	-
一般会計への繰出金	-	_	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	市民劇場等運営事業の拡充及び文化会館リニューアル記念事業等の実施により、行政サービス活動収入及び支出がともに増加しました。
--------------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

	指標名	年度	美績	単位あたりコスト	
+	民1人当たりのコ	平成30年度	371,030 人	242 円	令和3年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民1人当たり186円のコストがかかっていま
		令和元年度	373,978 人		予備3平3月31日現在の映画印入日で昇出し、印氏1人当たり100円のコストががかっていま
	r	令和2年度	376,944 人	186 円	9 0
		平成30年度		円	
		令和元年度		円	
		令和2年度		円	

◆貸借対照表 (単位:千円)

<u> </u>	18 M M 48							(平位:10)
	勘定科目	令和元年度末	令和2年度末	差額	勘定科目	令和元年度末	令和2年度末	差額
	刨足行口	Α	В	B-A	刨足行口	Α	В	B-A
IJ	見金預金	-	-	_	流動負債	3,426	1,972	△1,454
流す	卡収金	-	-	ı	地方債	-	-	-
動貝	才政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
資気	豆期貸付金	1	1	-	賞与引当金	3,426	1,972	△1,454
産貨	敞収不能引当金	-	-	ı	未払金	-	-	
7	その他流動資産	_	-	ı	リース債務	-	-	-
П	有形固定資産	7,404	7,175	△228	その他流動負債	-	-	-
当	≝ □ 土地 □	-	-	ı	固定負債	32,122	20,220	△11,902
Į į		7,404	7,175	△228	地方債	-	-	-
í	※ リース貧産	-	-	ı	長期借入金	-	-	-
ر ق	。 建設饭勘定	-	-	-	退職手当引当金	32,122	20,220	△11,902
) <u>s</u>	無形 回足貝性	76	76	ı	リース債務	-	-	
1	有心回足貝座	_	-	ı	その他固定負債	-	-	-
固定		_	-	ı	負債の部合計	35,547	22,192	△13,355
定 ‡	建物・工作物	_	-	ı				
	建設仮勘定	-	-	ı	純資産	△22,568	△9,441	13,127
産 🖠	L 要物品	5,500	5,500	ı				
2	図書館資料	-	-	ı				
招	投資その他の資産	-	-	-				
	出資金	1	1	-				
	長期貸付金	-	-	ı				
	基金	_	_	_				
	徴収不能引当金	-	_		純資産の部合計	△22,568	△9,441	13,127
	その他債権	-	_					
資産	の部合計	12,979	12,751	△228	負債及び純資産の部合計	12,979	12,751	△228

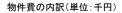
Ⅲ 財務構造分析 ▽人にかかるコストの内訳

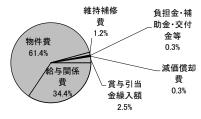
* X(CN-N-0-1X(-0)F3R(
	常勤·再任用	会計年度任用等	特別職非常勤			
事業従事人数	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数			
尹未促尹八奴	3.41 人	100 日	11 日			
給与関係費等	18,469 ^{∓ฅ}	957 ^{∓円}	92 ^{∓円}	合計(千円) 19.519		
				19,519		
内、時間外勤務手当	1,737 ^{∓円}					

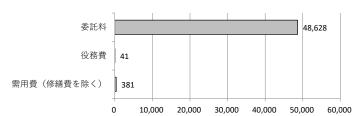
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

PLIE VINK 1X V	ソエ:6:41 (M) 生田 (17 (M) 1/6 字 次/			
勘定科目	増 減 理 由			
建物・工作 物 南山田市民ギャラリー(建物)減価償却による2 千円の減				
無形固定資 産話加入権。増減なし。				
重要物品	絵画1点。増減無し。			

▽経常費用の構成割合







▽施設の概況

施設の名称	南山田市民ギャラリー
取得年月日	平成16年(2004年)7月(供用開始)
建物・工作物の取得価額	11,420 千円
建物・工作物の減価償却累計額	4,245 千円
利用料金収入	24 千円

(単位:%) ▽分析指標 成30年度 **令和元年度** 令和2年度 分析指標 年度 В B-A 施設維持補修費比率 8 1 8 1 施設老朽化比率受益者負担比率 33.2 35.2 2.0 37.2 0.2 0.2 0.0 △ 0.2 徴収不能引当率 一般財源充当比率 91.3 95.2 82.9 △ 12.3 経常費用対公共資産比率 785.9 654.6 612.8 △ 41.8

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

ため、新たな劇場を体感できる事業を実施しました。

▼分析結果を踏まえた事業の課題 幅広く文化事業を実施し、市民が文化や芸術に触れる機会を提供しています。新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの事業が影響を受けましたが、今後も市民が文化や芸術に触れる機会を保障できるよう事業展開をしていく必要があります。